

2025 年 8 月 29 日

CO₂排出量算定システム「炭削くん」の開発背景について

日経ビジネスに掲載されました！

当行が開発した CO₂排出量算定システム「Zero-Carbon-System（炭削くん）」（以下、「炭削くん」）を活用した脱炭素への取り組みについて、株式会社 日経 BP（東京都港区、代表取締役社長 CEO 井口 哲也 以下、日経 BP）が運営するビジネス情報サイト「日経ビジネス」内にインタビュー記事を掲載いただきましたのでお知らせします。

1. インタビュー記事概要

当行は 2024 年 1 月より CO₂排出量算定システム「炭削くん」の外部へのサービス提供を開始しました。炭削くんは企業や自治体が CO₂排出量を効率的に算定・管理し、削減に向けた具体的な行動を支援するシステムで、当行がベトナム ICT のリーディングカンパニーである FPT の海外リソースを初めて活用して構築したシステムです。システム開発を依頼した背景や、現在の炭削くんの広がりについて、また今後の展望についてもお話しさせていただきました。

タイトル : 地方発、グローバル協業で開く持続可能な未来 ―肥後銀行×FPT の挑戦
公開日 : 2025 年 8 月 29 日（金）
公開先 URL : 日経ビジネス 公式サイト
(https://special.nikkeibp.co.jp/atclh/ONB/25/fptconsulting_01/)

地方発、グローバル協業で開く持続可能な未来 ― 肥後銀行×FPT の挑戦

肥後銀行がベトナム FPT に CO₂排出量算定システム開発を依頼した理由とは



うるおいある未来のために。

肥後銀行

2. 「炭削くん」概要

システム名称・ ロゴマーク	CO ₂ 排出量算定システム 「Zero-Carbon-System（炭削くん）」 				
開発目的	気候変動、地球温暖化対策として脱炭素に向けた取り組みの必要性が高まる中、CO ₂ 排出量の把握、見える化を実現するシステムを提供し、お客さま・地域全体のカーボンニュートラル実現を目指す				
特 徴	・追加料金なしで Scope3 まで算定可能 ・ユーザー数課金制、拠点登録数無制限 ・サプライチェーンでの排出量算定可能（Scope1, 2, 3）				
主な機能	電気、エネルギー等の各種使用量（請求書等）データをシステムに入力 ・企業活動全体の GHG 排出量算定（Scope1, 2, 3）および可視化 ・排出量削減目標の設定及び進捗管理 ・算定結果のレポート出力				
ホームページ	https://www.higobank.co.jp/business/tansaku/				
利 用 料	利用開始から 1 年間は利用料無料。2 年目以降は月額 2,200 円～（税込） ※ただし、クレジットカード決済のみ可 ＜料金テーブル＞ <table border="1"> <thead> <tr> <th>1 企業あたりユーザー数</th><th>月額料金（税込）</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5 ユーザー</td><td>2,200 円</td></tr> </tbody> </table> ※以降、5 ユーザー毎に 1,100 円加算	1 企業あたりユーザー数	月額料金（税込）	1～5 ユーザー	2,200 円
1 企業あたりユーザー数	月額料金（税込）				
1～5 ユーザー	2,200 円				

以 上

《本件に関するお問い合わせ》
 肥後銀行 経営企画部サステナビリティ推進室
 担当：玉木・西村
 電話番号：096-326-8603